

「ねぎっちょ」のデザイン等の利用に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、岐南町マスコットキャラクター「ねぎっちょ」(以下「ねぎっちょ」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(ねぎっちょに関する権利)

第2条 ねぎっちょに関する著作権等の一切の権利は、町に属する。

(定義)

第3条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) デザイン等 ねぎっちょのイラスト、立体物、写真又はこれらに準ずるものをいう。
- (2) 物品等 デザイン等を使用した商品、景品、これらのパッケージ又はこれらに準ずるものをいう。

(利用許可)

第4条 デザイン等を利用しようとする者(以下「申請者」という。)は、あらかじめ町長の許可を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りではない。

- (1) 町の機関が利用する場合
- (2) 前号に掲げるもののほか、町長が適当と認める場合

(利用許可の申請)

第5条 申請者は、利用許可申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて、町長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の概要が分かる資料(申請者が法人その他の団体等である場合に限る。)
- (2) デザイン等の利用見本
- (3) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類

(利用許可書の交付等)

第6条 町長は、前条の規定による申請があったときは、その内容が次の各号のいずれかに該当する場合を除き、第4条の許可(以下「利用許可」という。)をすることができる。

- (1) ねぎっちょのイメージを損なうおそれがあると認められる場合
- (2) 立体物で、その表現がねぎっちょの立体物と認められない場合
- (3) ねぎっちょの変形など、デザイン等を正しく利用されないおそれがあると認められる場合
- (4) 宗教的行事、政治活動等のために利用すると認められる場合
- (5) 町の信用又は品位を害すると認められる場合
- (6) 第三者の利益を害すると認められる場合
- (7) 法令又は公序良俗に反すると認められる場合
- (8) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条の風俗営業を営む者が利用する場合
- (9) 申請者(申請者が法人である場合にあつては、当該申請者の役員等)が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者である場合
- (10) 前各号に掲げるもののほか、町長が不適当と認める場合

- 2 町長は、利用許可をする場合は、利用許可書(様式第2号)により申請者に通知するものとする。
- 3 町長は、利用許可をする場合は、条件を付することができる。
- 4 町長は、申請者が前条の規定による利用許可の申請に要した費用について、一切の負担をしないものとする。

5 町長は、利用許可をしない場合は、利用不許可通知書（様式第3号）により、申請者に通知するものとする。

（利用期間）

第7条 デザイン等の利用期間は、利用許可の日から1年以内であって町長が必要と認める日までとする。

2 前項の利用期間の満了後において、引き続きデザイン等を利用しようとするときは、改めて利用許可を受けなければならない。

（利用料）

第8条 デザイン等の利用料は、無料とする。

（遵守事項）

第9条 利用許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、デザイン等の利用に関し、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 原則として、物品等に「岐南町」の表記を付すこと。
- (2) 利用許可を受けた内容のみに利用すること。また、利用許可に際して、「このデザイン等は商品の品質を保証するものではないと記載すること」等町長による条件を付された場合は、それに従うこと。
- (3) 指定の色、形等に従ってデザイン等を正しく利用すること。
- (4) 利用許可を受けた物品等の完成品を、完成後30日以内に町長に提出すること。ただし、提出が困難なものについては、写真その他物品等の状況が分かる資料を提出すること。
- (5) 利用許可を受けた権利を譲渡又は転貸しないこと。
- (6) 商標、意匠等の登録出願を行わないこと。
- (7) 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（昭和25年法律第175号）、不当景品類及び不当表示防止法（昭和37年法律第134号）、食品衛生法（昭和22年法律第233号）その他の関係法令を遵守すること。
- (8) 物品等の製造を第三者に委託する場合は、受託者がこの要綱の規定に違反することがないように管理及び監督のために必要な措置を講ずること。
- (9) 物品等の製造及び販売にあたり、事故等が発生しないよう万全の配慮を行うこと。
- (10) 他者によるデザイン等の無断利用など問題となり得る行為を発見した場合は、速やかに町に報告すること。

（利用許可事項の変更）

第10条 利用者は、利用許可を受けた内容を変更しようとするときは、変更許可申請書（様式第4号）を町長に提出し、改めて利用許可を受けなければならない。

（利用許可の取消し等）

第11条 町長は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可を取り消し、利用者に対し物品等の回収等の措置を要求することができる。

- (1) 利用者がこの要綱又は利用許可の条件に違反したとき。
 - (2) 第5条又は前条に規定する申請書の内容に虚偽があることが判明したとき。
 - (3) 利用者が第6条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。
 - (4) 前各号に掲げるもののほか、デザイン等の利用を継続することが不相当であると認められたとき。
- 2 前項の規定により利用許可が取り消された場合において、利用者は、利用許可を取り消された日からデザイン等を利用することができないものとする。
- 3 町長は、第1項の規定による利用許可の取消しにより利用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。

（利用の中止）

第12条 利用者は、デザイン等の利用を中止しようとするときは、利用中止届（様式第5号）を町長に提出しなければならない。

（利用状況の報告等）

第13条 町長は、デザイン等を利用する者にデザイン等の利用状況について報告を求め、又は調査することができるものとする。

（利用の非独占・町の非推奨等）

第14条 この要綱による利用許可は、利用者が自己の商標、意匠とするなど、独占してデザイン等を利用する権利を付与するものではなく、かつ、物品等又は利用者について町による推奨又は品質保証を行うものではない。

（損失補償等の責任）

第15条 町は、デザイン等の利用に関して生じた損失について、一切の責任を負わないものとする。

2 利用者は、物品等の瑕疵により第三者に損害又は損失を与えた場合は、これに対し全責任を負い、町は損害賠償、損失補償その他の法律上の一切の責任を負わないものとする。

3 利用者がデザイン等の利用に際して、故意又は過失により町に損害を与えた場合は、これによって生じた損害を町に賠償しなければならない。

（その他）

第16条 この要綱に定めるもののほか、デザイン等の利用に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、公表の日から施行する。